

令和5年度 第3回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 令和6年1月29日（月）午前10時00分～11時50分
- 【場 所】 大牟田市 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 松尾(直)委員、堺(婦)委員、松尾(龍)委員、田中委員、江崎委員、木下委員、栗崎委員、柿川委員、堺(裕)委員
- 【欠席委員】 篠原委員、長尾委員、野田委員、安元委員
- 【行政関係者】 坂井市民協働部長、高口市民協働部副部長、徳川生涯学習課長、村上生涯学習課地域学習担当課長、西村スポーツ推進室長、平田人権・同和・男女共同参画課長、浦川生涯学習課社会教育主事、森生涯学習課社会教育振興担当職員
- 【欠席者】 加藤世界遺産・文化財室長

◆あいさつ

坂井市民協働部長
堺議長

◆協議・報告

1 令和5年度社会教育・生涯学習事業（案）について

事前配布資料「社会教育事業等の推進状況（令和5年12月末現在）」を基に、各所管課・室長より説明。以下の意見・質問が出た。

議 長	いまの説明を聞いて意見・質問等はないか。
委 員	<p>各地区公民館でいろいろな講座をされていることは分かるが、各地区公民館が地域の町内公民館へ支援する事業は何か考えてあるのか。</p> <p>今後、高齢化により外出し難くなる。交通機関が不便等の理由で地区公民館まで行けない。車など移動手段を持っていない高齢者は、できれば地域の町内公民館で出前講座のようなものを作ってもらえると、もっといろんな方が外へ出られるのではないかと考えるが、その辺を教えて欲しい。</p> <p>大正校区でも「地域の町内公民館へは行くが中央地区公民館までちょっと躊躇する」という人が多くおられる。そのあたりを考慮して、地域の町内公民館や校区コミュニティセンター等を利用して講座等をやれないのか。各地区公民館からの仕掛が欲しい。</p>
行政職員	<p>今年度、天領のコミュニティセンターと地区公民館をオンラインでつないでe-スポーツの対戦をした。そういうツールを利用するとともに、地区公民館職員が出かけていくことも検討していきたい。</p>
議 長	是非、検討をお願いしたい。

2 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究について

事前配布資料「大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究令和5年度調査研究報告書(案)」に基づき、徳川生涯学習より報告。以下の意見・質問が出た。

委員	<p>P137に記載がある「長寿化が進展する人生100年時代において、生涯を通じた全ての人のウェルビーイングの実現」とあるが、私の母も93歳になり人生100年を実感しているところである。先程、地区公民館へ行けない方が多数おられるとの発言もあったが、私もそう感じている。特に車を運転できないどころか、足腰が弱って家の周りしか歩けない人にも人生100年時代・生涯ウェルビーイングというのであれば、生涯学習の目的を持った学びの場がもっと身近に必要なのではないかと感じている。</p> <p>高齢者の学びの場、生涯学習の講座を受ける、そういう環境がこれからはもっと重要になってくるし、そのあたりのサポートも必要になってくるのではないかと感じている。</p>
行政職員	<p>前回の基礎調査研究の中でも、地区公民館で実施している事業を地域に出て展開をしていくという意見を受けていた。町内公民館は市内に156ぐらいある、また地域交流施設等もある。そういった施設等を活用しながら地区公民館職員が地域へ出て行く。この後の文化芸術振興プランの中でも「身近な施設で文化芸術に触れる機会を作ってもらいたい」などの切実な意見もあったので、やはり生涯学習をする場合でも、より身近なところで学習をすることができる環境が必要であると考えている。</p>
議長	<p>助言者の提言は、今後の課題の中に反映されているのか。</p>
行政職員	<p>助言者の提言書提出が12月末だったので、今後、助言を踏まえて事業内容の変更や、指摘にあった課題解決の方向性を見出して行きたいと考えている。</p>

3 大牟田市社会教育振興プラン（2024～2028）（案）について

当日配付資料「大牟田市社会教育振興プラン（2024～2028）（案）」に基づき、徳川生涯学習課長より説明。以下の意見・質問が出た。

議長	<p>P2に記載がある「大牟田市教育の振興に関する大綱」の下に「大牟田市学校教育振興プラン」と「大牟田市社会教育振興プラン」の2つがあるが、学校教育と社会教育は相互の意思疎通や理解を図っているのか。共通認識の度合いなどどうか。</p>
行政職員	<p>学校教育振興プランと社会教育振興プランについて「社会教育振興プランはこう作ります。」「学校教育振興プランはこう作ります。」というのは、まちづくり総合プランの中で教育委員会や市民協働部各々で議論されたものがプランに落ちてきている形になっており、各々のプランが「こうなりました」という話が特にあっているわけではない。まちづくり総合プラン上で協力・連携すべきところを協議しているところである。</p>

議 長	<p>まちづくり総合プランや教育施策の大綱の段階で、意思疎通や協議が行われているということで理解した。</p>
委 員	<p>学校の立場から話をしたい。</p> <p>大牟田市の社会教育振興プランに関しては非常に充実していると、常々感心している。来年度以降のプランで、子ども達への体験活動の強化・充実が図られていることも非常に有り難いと感じている。もう少し自分たちがやっていくべき「未来デッサン」や「未来のリーダー育成プログラム」なども、新しい試みとしてやる気のある子ども達を育てていくに相応しい事業だと感じている。</p> <p>小学生について思うことは、せっかくいろんな行事があるのに、興味を示して参加する子としない子の開きが大きいなど感じる。それは保護者の関わりや過去の経験などが大きく影響していると思う。学校での体験学習では、ボランティアで来ていただき助けられている。また、小学校へ入る前の未就学児の段階での参加率を高めるといふか、そういう小さいときの「良かったな！」という経験があると、保護者も子ども達も「またやってみよう！」など思ってもらえるのではないか。その働きかけを「学校教育」と「社会教育」が一緒になって、就学時前の子ども達へ体験する機会を提供していくことが大切だと個人的に感じている。</p> <p>「各世代に応じた学習機会の提供」というところでは、高齢化が進んでいるので、そういう年代へのサポートも必要である。大牟田の実情を考えると、いろんなところで担い手が高齢化していることは仕方のないことかなと思えるが、そのような状況の中でも高齢者が学ぶ環境はあるのか。その点では、実際に会う機会の場所への移動手段にも課題があると思う。しかし、実際に体が動かない場合でも、情報を収集して交流につなげていくために、デジタルやインターネットなどを利活用していくことが欠かせないと感じている。高齢者の方々にもデジタルの活用ということで、いろんな手続きや、アクセスできるような取組みがあったと思うが、この社会教育振興プランというより、社会教育・生涯学習全体を進めていくうえでもデジタルの活用は不可欠だと思う。</p> <p>学校でも「まなばんかん」や「ゲストティーチャー」で、いろんな方に来ていただきすごく助けられている。そういう手続きにしても情報交換にしても、手続きをできるだけ簡単にしていくことが、行事等への参加率も上がることにつながると思うし、行政へのアクセスを簡単にしてデジタルの活用を更に推進していくことで効果が表れると思う。</p>

行政職員	<p>委員の意見にあった「参加率」の関係では、市民意識調査や各種アンケートをやった結果、小学生の保護者のアンケートでは「親子で体験できる機会をもっと設けてもらいたい」という意見が多くあった。また、子ども達自身に対してのアンケート調査でも、「保護者と一緒に体験したい」というような意見が多くあった。</p> <p>助言者の考察の中でも「体験の充実」は意見として強く出ていた。これからは「体験」というものが親子共々必要なのではないかなと思っている。</p> <p>デジタル化でも、生涯学習課では「地域のICTを支援する人づくり事業」を実施している。デジタル関係の課題解決につながるようなボランティアを養成していくという内容である。ひとつひとつの手続きは必要であるので、このようなボランティアを養成していくという分野を強化しなければならないと考えている。</p>
委員	<p>手続き関係では、学校を介して子ども達へ渡される企画の資料を、各機関や部署からもらって子ども達へ配布している。一方では、子どもから保護者へ渡された資料に手書きされたものを保護者が集約して学校へ提出される。学校も保護者も「学校→子ども→保護者→集約→学校→各部署へ」と、かなり煩雑さである。デジタルを活用し「QRコードなどから読込む→一覧ができる→一覧を使用して手続きを行う（完了）」というようになれば、お互い手間や煩雑さ払拭し、手続きがやりやすくなる。こういう点も考慮してもらえないかなと思う。</p>
委員	<p>ガールスカウトをしているが、体験学習は常に本腰でやっている。学校も協力いただいて年に2回ぐらいはチラシを出している。しかし、なかなか参加が少ない。でも親子で参加された方は楽しくされている。</p> <p>先程言われたように、今度、QRコードを使用したりなど、何らかの工夫をしようと思っている。自分たちも反省しながらやっていこうと思っている。</p>
委員	<p>基本方針に「全ての人の可能性を引き出す共生社会」とあるが、事業に参加する人、しない人、参加しないならしないでもいい。参加しても、取組みをしないならしないでもいい。そのようになっている感じがある。一方では、個人の意向や尊厳を大事にしないといけない部分もあるが、「参加するなら何らかの可能性を引き出す」ような方向性を持った取組をしていかなければならない。事業には参加するが、その取組みは「せんならせんでもよかろうもん」ということにならないようにしてほしいと切に思う。</p>

4 大牟田市文化芸術振興プラン(第3期)について

事前配付資料「大牟田市文化芸術振興プラン(第3期)に関する文化芸術振興審議会からの答申内容について」及び当日配付資料「大牟田文化芸術振興プラン(2024~2028)(案)」に基づき、徳川生涯学習課長説明。(意見・質問なし)

5 第76回はたちの集いについて

当日配付資料「第76回はたちの集い実施状況について」に基づき、村上生涯学習課地域学習担当課長より報告。(意見・質問なし)

6 絆と夢の青春祭について

当日配付資料「絆と夢の青春祭(チラシ)」に基づき、村上生涯学習課地域学習担当課長副部長より報告。(意見・質問なし)

7 その他

① 筑後地区市町村社会教育委員研修会について

事前配付資料「研修会参加報告書」に基づき、田中社会教育委員、江崎社会教育委員より報告。(意見・質問なし)

② 大牟田市総合体育館について

当日配付資料「大牟田市総合体育館整備の進捗について(報告)」に基づき、西村スポーツ推進室長より報告。(意見・質問なし)

③ R5 玉川小学校子ども放課後塾スケジュールについて

当日配付資料「R5 玉川小学校子ども放課後塾スケジュール」に基づき、柿川社会教育委員より報告。(意見・質問なし)

④ 社会教育委員の会議の1年を振り返って(感想)

議長	今回で社会教育委員の会議は、このメンバーでは最後となる。委員一人ひとり感想を伺いところだが、時間も迫っているので何人かに聞いてみたい。
委員	大変いい勉強をさせていただいた。社会教育委員の会議で出た意見を地域に持ち帰って「何かに役立てよう」という意識は持っている。次年度一年間のスケジュールには、何とか役立てたいと思う。
委員	一年間お世話になりました。参加させてもらって「社会教育委員とは…」当初、私自身何も分からなかったが、皆さんお話を聞きながら、関心を持って協力をしていかねがならないと感じていたところである。この一年間は本当に勉強になった。
委員	社会教育では個々の充実した取組みをしてきてもらっている。「子ども達の学ぶ姿から学ぶ。」こういうことに気づいていけばいいんだと感じた。また、私達も学んでいくことが大事である。子ども達に向けていろんな事業をしていただいているので、学校も一緒になって子ども達の手助けをしていけたらいいなと思っている。
委員	昨年の7月から社会教育委員になり、本当に短い間だったが、大変お世話

	になった。この4月から仕事をする事となり、大牟田文化連合会も3月いっぱい で辞める事となり、社会教育委員も今季限りとなってしまった。 本当にありがとうございました。
--	--

⇒次回会議 令和6年7月 予定